

エコアクション 21
環境活動レポート
(2007 年度版)

株式会社 ティ・エム・エス

I. 事業の概要

1. 商号

株式会社 ティ・エム・エス

2. 代表者

代表取締役 飯田 豊

3. 所在地

滋賀県草津市矢橋町 1848 番地の 1

4. 事業内容

ビルメンテナンス

5. 資本金

1,000 万円

6. 事業の規模

・売上高

476 百万円 (2008 年 4 月決算実績。百万円未満切捨)

・従業員数

127 名

・事務所床面積

76 m²

・倉庫面積

159.2 m²

・駐車場面積

278 m²

7 営業の沿革

1987 年 5 月 1 日

株式会社 光・エム・エス 創業

1988 年 1 月 6 日

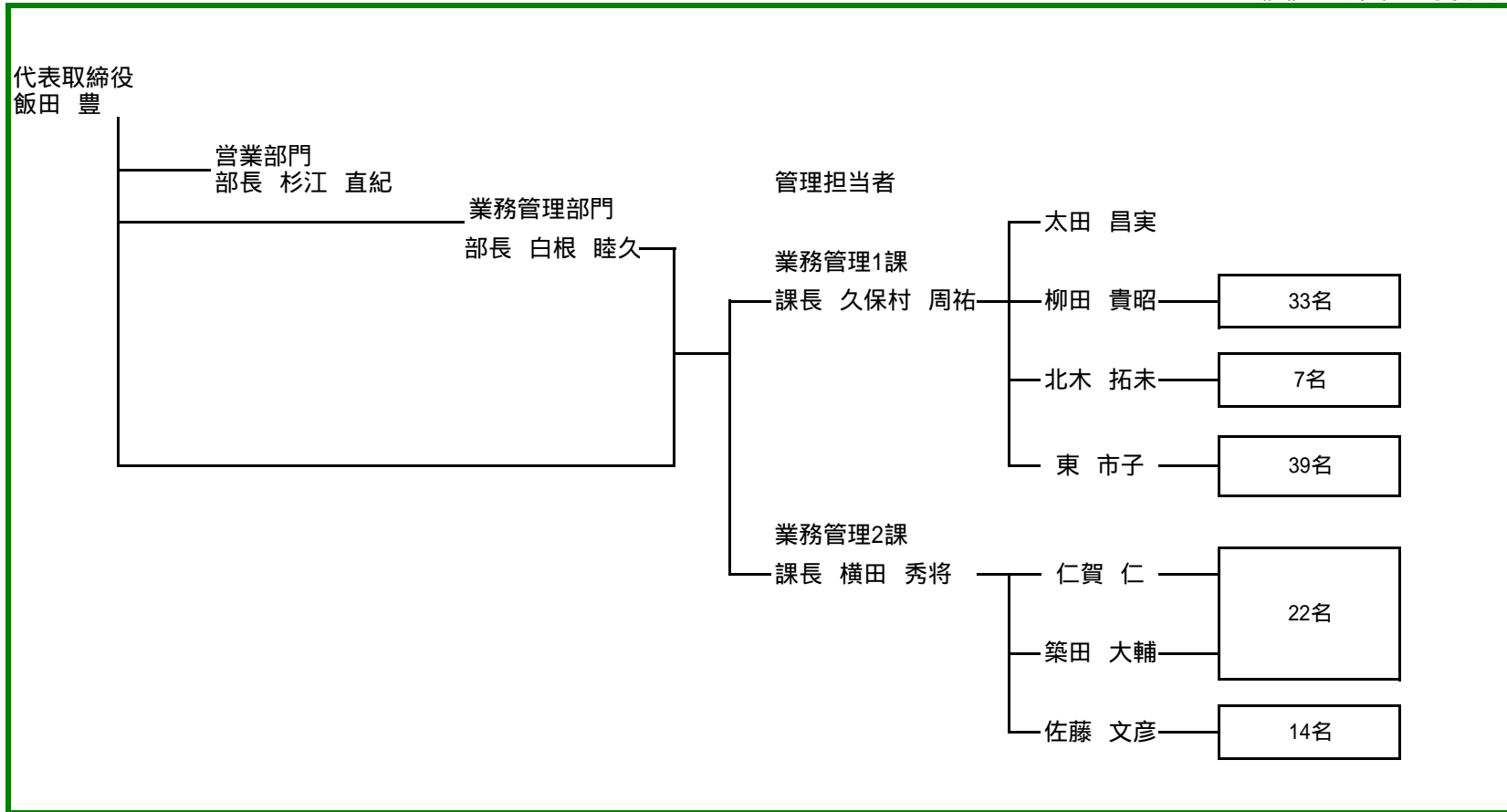
建築物清掃業 登録

1999 年 6 月 14 日

商号を「株式会社 ティ・エム・エス」に変更
本社を現在の所在地へ移転

8.株式会社 ティ・エム・エス 組織図

認証・登録希望対象組織



- | | |
|--------|--|
| 社長 | 当社の経営トップ(代表取締役社長である)経営、営業、渉外を主業務とする |
| 営業部門 | 営業・渉外・業務運営を指揮総括する。 |
| 業務管理部門 | 業務管理課、業務課を総括し業務全般の総指揮をとる。総務的役割も兼ね備えている。 |
| 業務管理1課 | 日常清掃を中心とした事業所の管理運営をする。 |
| 業務管理2課 | 定期清掃、特別清掃等を中心として運営、日常清掃事業所のフォローおよびバックアップをする。 |

II.環境方針

株式会社 ティ・エム・エス

環境方針

環境理念

当社は、地球規模での環境悪化に対し、その保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、事業活動ならびに地域社会活動において、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

活動方針

当社は滋賀県湖南地域を中心に 20 年にわたりビルメンテナンス事業を行っています。

この事業活動における環境への影響を理解し、環境経営を優先課題と位置づけて、社員と協力しエコアクション 21 環境経営システムを構築運用し、以下の事項について環境負荷の軽減を目指し、自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規を遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境負荷を軽減するため、次の活動を実施します。
 - 環境に配慮したグリーン購入の積極導入に努めます。
 - 地球温暖化防止のため省エネルギーを推進します。
 - 事業活動に伴う廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - 省資源に努め、事務所で使用する水を削減します。
 - 優良なサービス提供の品質管理の一つとして、環境負荷の軽減をとりいれ、集合教育のなかで、積極的に研修し、推進に努めます。
 - 地域社会の環境活動・行事に積極的に参加し、推進に努めます。
4. この環境方針は教育や日常活動を通じて全従業員に周知します。

平成 19 年 9 月 1 日

滋賀県草津市矢橋町 1848 番地の 1

株式会社 ティ・エム・エス

代表取締役 飯田豊

III.取りまとめた数値の推移

年度別の推移

	2005 年度	2006 年度	2007 年度
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	24242	24063	25022
廃棄物等総排出量 (t)	0.29	0.29	0.21
総排水量 (m ³)	40	30	30

IV.環境目標とその実績

2007 年度環境目標	基準数値	年度目標	目標(実数)	実績
ガソリン・灯油・LPGの使用量を 2006 年度対比 1%削減する。(MJ)	274170	▲1%	271428	308746
電力使用量を 2006 年度対比 1%削減する。(kWh)	109152	▲1%	108060	97081
CO ₂ の排出量を 2006 年度対比 1%削減する。 (kg-CO ₂)	24062	▲1%	23821	25021
一般廃棄物を 2006 年度対比 1%削減する。(kg)	288	▲1%	285	218
水の使用量を 2005 年度対比 1%削減する。(m ³)	40	▲1%	39	30
本社周辺地域の美化活動を 1 回実施する。(回)	1	1 回	1	1
エコマーク事務用品等の 2007 年度購入比率対比 10%に拡大する。(kg)	0	10%	-	72%

V. 主要な環境活動計画の内容

1. ガソリン・灯油・LPGの使用量の削減のために
 - ① 不要積載物の確認
 - ② タイヤの空気圧の確認
 - ③ 暖機運転・アイドリングストップ
 - ④ エコドライブの促進
 - ⑤ ストーブの温度管理

2. 電力使用量の削減のために
 - ① ①不要時の消灯
 - ② OA機器などのスイッチオフ
 - ③ エアコンの温度管理

3. 一般廃棄物の削減のために
 - ① 使用済みコピー用紙の再利用
 - ② 適正な分別の促進
 - ③ 自社内での二次利用の推進
 - ④ 分別した廃棄物の2Rの推進

4. 水使用量の削減のために
 - ① 水洗トイレの水使用量を減らす
 - ② 水をこまめに止める

5. エコマーク事務用品の購入比率の拡大のために
 - ① 購入対象となる環境配慮商品を把握する
 - ② 環境配慮商品の購入に当たっては把握した商品の中から購入する

VI.環境活動の取り組み結果の評価

1.年度目標、実績、評価

2007 年度環境目標	年度目標	実績	評価
ガソリン・灯油・LPGの使用量を 2006 年度対比 1%削減する。(MJ)	▲1%	12.6%	社員増員の為、社用車の稼動が増し、ガソリンの使用が増加した。 また、灯油の前年度からの持越し分が少なかった為、購入量が増加した。
電力使用量を 2006 年度対比 1%削減する。(kWh)	▲1%	▲11.0%	目標は大幅に達成できた。
CO ₂ の排出量を 2006 年度対比 1%削減する。 (kg-CO ₂)	▲1%	4.0%	ガソリン、灯油の購入量が増加した為 CO ₂ 量も増加してしまった。
一般廃棄物を 2006 年度対比 1%削減する。(kg)	▲1%	▲24.3%	目標は大幅に達成できている。
水の使用量を 2005 年度対比 1%削減する。(m ³)	▲1%	▲25%	目標は大幅に達成できている。
本社周辺地域の美化活動を 1 回実施する。(回)	1 回	1 回	目標は達成できている。
エコマーク事務用品等の 2007 年度購入比率対比 10%に拡大する。(kg)	10%	72%	目標は達成できているが、今後も一層の拡大に努める。

2.今後の運用について（環境管理責任者のコメント）

数値の変動の管理も重要な内容の 1 つではありますが、目標の設定をどのように、どのような内容に設定するかも重要であると思います。

今回の、運用内容であれば、社員の増員など目標数値を大きく変動させる要因がある場合に対応できるような目標設定も考えていきたいと思っています。

3.代表者の評価

目標を大幅に達成できている数値は高く評価でる。達成できていない数値については要因が明確である為、再検討が必要かと思われる。

また、目標は達成できているが、地域の活動にも一層積極的に参加していきたい。全社員の意識向上に期待する。

VII.環境関連法規への違反、訴訟の有無

1.環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反の指摘は、過去3年間ありません。

2.当社の対象となる環境関連法規の順守状況

法律等の名称	内容	結果
環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	事業活動に関する環境情報の提供を行うように努めること。	問題はない。
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物運搬・処理の委託時の業者選択基準。 マニフェストの取扱い等。	問題はない。
その他の廃棄物に関する法律	資源の有効利用、容器包装のリサイクル及び再利用、家電物廃棄の排出抑制及び排出時の手順、自動車リサイクル等。	問題はない。
浄化槽法	浄化槽の保守点検、清掃の実施。 水質検査の実施等。	問題はない。
水質汚濁防止法	排水による水質汚濁の負荷低減等。	問題はない。
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	環境物品等の選択。	問題はない。
草津市ゴミカレンダー	ごみ出し分別基準。	問題はない。

Ⅷ.環境レポートの公表等について

環境活動レポートは、本社に備え付け、要望があれば閲覧していただきます。
また、事務局に送付します。

環境管理責任者 管理部部長 白根 睦久